

## ヘルスケア研究会 事業報告

谷澤之彦\*, 中村 敬\*, 前川明弘\*, 濱口 聡\*, 東出考由\*, 森本和邦\*, 森 大樹\*

### Annual Report of Meeting for the Study on Healthcare

Yukihiko TANIZAWA, Kei NAKAMURA, Akihiro MAEGAWA, Satoshi HAMAGUCHI,  
Takayoshi HIGASHIDE, Kazukuni MORIMOTO and Daiki MORI

#### 1. はじめに

三重県では、平成 29 年 5 月に技術分野横断的な研究会活動を主体として、「みえ産学官技術連携研究会」を発足し、テーマごとに研究会を設置・開催した。研究会は、企業ニーズの把握、企業等とのネットワークの構築を図り、技術情報の提供や工業研究所の研究成果を共有することを目的とした。

工業研究所電子機械研究課では、研究会の一つとして、ヘルスケア技術に関する情報提供や研究を主題とする「ヘルスケア研究会」を担当した。

#### 2. 技術調査ヒアリング

県内の医療介護関連機器を開発する企業（10 社）や医療福祉関係者（5 機関）から、医療介護機器に関するシーズやニーズについて聞き取りを行った。次年度も継続して調査を実施して、研究会等を活用して調査結果を報告する予定である。

#### 3. 見守りセンサの開発

工業研究所では、介護従事者の負担軽減を目的として「AI を活用した見守りシステムの開発」に取り組んでいる。試作機による検証が完了したことから、令和 6 年 10 月 22 日に開催された「みえライフイノベーションシンポジウム」にて成果報告した。参加した企業や医療福祉関係者との意見交換を行い、現場導入時に想定される課題等について聞き取りを行った。

#### 4. まとめ

研究会の開催を通して、ヘルスケアに興味を持つ新規企業を開拓するとともに、現場ニーズを把握し、企業との共同研究、企業支援につなげる取組を進めたい。

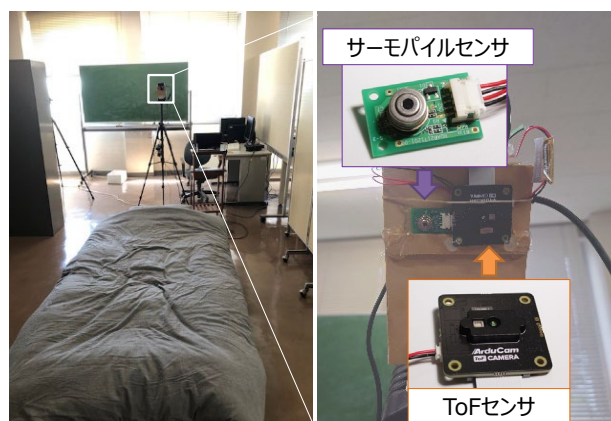


図 1 見守りセンサ（試作機）

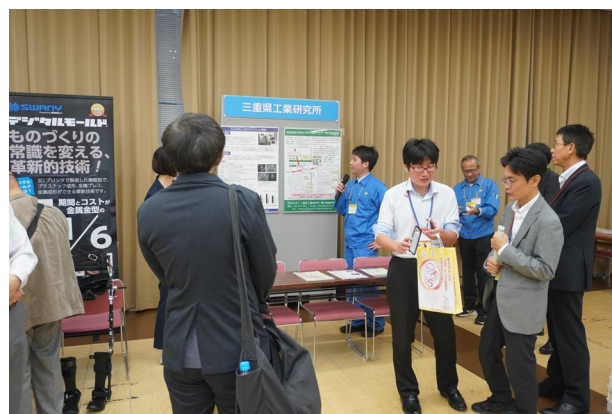


図 2 展示会（みえライフイノベーションシンポジウム）

\* 電子機械研究課